特集／松丸 修久 守谷市長 3期就任インタビュー

広告　企画・制作　建設未来通信社広告部

TX東京駅延伸の実現へ意欲

～未来を見据えたプロジェクトに邁進～

スマートIC早期開通を

中央図書館は大改修着工

昨年11月に3期目の当選を果たした松丸修久守谷市長。これまでに学校給食センターの新設やヤクルトスワローズ2軍施設の誘致、(仮称)守谷サービスエリアスマートインターチェンジの事業化など多くの実績を残してきた。3期目となる今期は、TXの東京駅延伸や総合公園の整備、中央図書館の大規模改修など守谷市の未来を見据えたビッグプロジェクトの実現に邁進する。

■3期目の抱負について

これまでの2期8年間で、市民の皆さまにお約束していたことは8～9割程度は達成できたと思う。ヤクルトスワローズ2軍施設の誘致に成功。スマートインターチェンジは事業認可を取得できたが、まだまだクリアすべき課題がある。できるだけ早い時期に開通を迎えたい。そして大きな事業としてTXの東京駅延伸がある。東京都は2040年には東京駅から臨海地下鉄を通して東京ビッグサイト、羽田空港までを開通させたいと考えている。28年頃から着工したいと考えているとのことなので、われわれも東京駅延伸を決めておかないと乗り遅れてしまう。ぜひとも守谷発、羽田空港行きのルートを実現させたい。これは20年先の守谷市にとって非常に大きな強みになる。秋葉原止まりではなく、世界につながるTXにしたい。

ハード面ではインフラの長寿命化を計画的に行う。守谷市は50年ほど前から区画整理事業で新しい住宅地の開発を進めてきたが、それに付随するインフラの老朽化が進んでいる。また、学校の長寿命化も計画的に進める。

そして25年度からは中央図書館の大規模改修工事が始まる。市民の皆さまの意見を参考に、時代に合った図書館を整備する。道路行政については、市内の都市計画道路の整備を予算の許す範囲で着実に進めていきたい。

■図書館の大規模改修について

改修に当たって一番良くないのは後から「こうしておけば良かった」と悔いを残すこと。各方面から意見を聞き、全て盛り込んだうえで予算の許す範囲内で取捨選択するというスタイルで計画をまとめた。理想形をつくった上で何を削っていくかというのが大切。当初の予定よりは予算額は増えたが、今想定しうる課題を解決できることが優先であると考えた。

■スマートインターチェンジとそれに伴う区画整理事業について

市内では住宅地の大規模開発の余地はなく、人口増も頭打ちの状態。しかし税収の確保は今後の市の財政状況の中では欠かすことができない。スマートインターチェンジを中心として周辺の区画整理事業を進め、新たな企業の誘致を目指す。ただし、豊かな緑は守谷市の魅力のひとつなので景観にも配慮したい。工場や研究施設などが入っていただけるとありがたいと考えている。スピード感を持って事業が進むことを期待する。

新守谷駅周辺の区画整理事業には地権者との調整に時間がかかっているが、25年度には組合設立まで進むのではないかと思う。物流関係の企業誘致が予定されている。合わせて、にぎわい創出を図れる集客施設の設置を期待する。

■総合公園の整備について

防災機能、交流人口の拡大に寄与する施設となることを期待する。現在はどのような手法で整備するのかについて検討を重ねている段階。PFIやPark-PFIといった民間活力を活用した整備が考えられる。

集客力のある民間事業者の方に参入していただけることで対応できる可能性はある。それでもスペースが不足するとなれば増築せざるを得ないと思う。

守谷市も半世紀前に宅地開発が始まり、住んでいる方の高齢化が進んでいる地区もある。まちのあり方も考えていかなければならない。高齢化が進んでいる北守谷地区とみずき野地区については再生計画の検討委員会を立ち上げていきたいと考えている。

今でなく未来をつくるのが政治家の仕事。20年後、30年後に市民が「守谷に住んで良かった」と思っていただけるようなまちづくりを進めていきたい。

■旧アジュール跡地の利活用について

現在は事業者の募集を行っているところ。適正な事業者が決まることを期待する。今後は、官民連携で建物を運営するのが理想。土地を市が貸して民間事業者に建物を建てていただき一部を公共施設として使わせてもらうような形態が必要だと考えている。

■インフラ整備について

都市計画道路では坂町清水線がまもなく完成する。みずき野大日線の整備も順調に進んでいる。今後は西口大柏線の整備を進めていきたい。また、守谷駅西口と国道294号線との交差点は早急に拡幅整備を行いたい。

上下水道については施設の更新を計画的に進めていく。老朽化施設の更新もこれまでは古い順に進めていたが、土質や周辺の建物の環境によって老朽化の進行具合は違う。現在、市全体の上下水道施設の状況を確認し、更新を行う順序を決めているところ。

守谷市は本年度に優良地方公営企業総務大臣表彰を受賞した。これは施設管理等にコンサルタント業務を追加した10年間の長期包括的民間委託を導入したことや赤字決算になることなく事業を運営をしている点などが評価されたもの。今後も堅実に運営を行ってまいりたい。

■入札制度のあり方

現在の守谷市の入札制度は予定価格の事前公表や最低制限価格の無作為係数設定などにより透明性を確保している。一方で過当競争により地元建設業者が立ち行かなくなってしまうことは避けなければいけない。地元建設業の皆さまは災害時はいち早く復旧活動に尽力して下さり、なくてはならない存在。限られた予算の中ではあるが、地元の建設業の方が適正な利潤を得られるようきめ細やかな対応をしてまいりたい。

■地元建設業へのメッセージ

市内の建設業の皆さまには市政運営に大変協力していただき感謝している。災害対策協力会という組織の立ち上げやボランティア活動などに尽力いただくなど良好な関係であると思っている。今後も引き続き意見交換をしながらお互いにウィン・ウィンの関係ができるようにまちづくりを進めてまいりたい。

建設業者の表彰制度は現在の守谷市にはないが、優れた施工を行った技術者を評価するような仕組みは必要だと考えている。

■今後の公共施設のあり方について

将来の財源を考えると固定費を抑えることは必要。大きな建築物を市が単独でつくるという時代ではない。市役所についても民間がつくった建物に間借りしても良い。自由度を持った考え方でないとこれからの自治体経営は難しい。全国的に人口減少、少子高齢化が進む中、行政サービスの縮小や施設のダウンサイジングについても今後は考えていかなければいけないと思う。

凍結している市役所の増築についても、計画がなくなったわけではない。しかし食堂等の空きスペースを改修して利活用し、DXを活用するこを期待したい。ヤクルトスワローズを中心としたボールパークのように整備していただければ相乗効果が期待できると思う。

◆プロフィール◆

松丸 修久（まつまる・のぶひさ） 1954年（昭和29年）4月29日生まれ。70歳。同志社大学経済学部卒。市議会議員を経て2016年から現職。最近の趣味はNHKの教育番組を録画して鑑賞すること。「自然科学や脳科学などを興味深く見ている」とのこと。

▲つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続事業化促進期成同盟会による設立総会が昨年12月に開かれ、会長には松丸修久守谷市長が就任した

地域の守り手として、守谷市の発展に貢献いたします

一般社団法人 守谷市建設業協会 〒302－0116 茨城県守谷市大柏797－1 TEL 0297－48－6678		令和建設㈱ 代表取締役 由良 宣明 〒302－0110 守谷市百合ケ丘1－2391－1 TEL 0297－48－0431	㈱山富造園 代表取締役 奈幡 富洋 〒302－0109 守谷市本町7230 TEL 0297－48－4817	酒石建設工業㈱ 代表取締役 酒井 幸治 〒302－0101 守谷市板戸井2090－6 TEL 0297－45－2592
常陸建設工業㈱ 代表取締役 又来 秀典 〒302－0123 守谷市乙子457 TEL 0297－48－5104	㈱日田建設工業 代表取締役 苫米地 直樹 〒302－0125 守谷市高野1207－13 TEL 0297－45－1701	㈱商元 代表取締役 久保田 守 〒302－0117 守谷市野木崎472 TEL 0297－48－1301	㈲小林造園 代表取締役 小林 孝行 〒302－0104 守谷市久保ケ丘2－6－7 TEL 0297－48－3660	㈱坂巻兄弟建設 代表取締役 坂巻 賢一 〒302－0119 守谷市御所ヶ丘4－10－6 TEL 0297－48－5057
㈲寺田工業 専務取締役 寺田 祐亮 〒302－0127 守谷市松ケ丘7－8－1 TEL 0297－48－8680	今井建設 代表 今井 聖志郎 〒302－0102 守谷市松前台2－6－17 TEL 0297－48－5151	㈲守谷造園 代表取締役 會田 裕史 〒302－0125 守谷市高野336－3 TEL 0297－48－1499	㈲染谷ガーデン 代表取締役 染谷 林二 〒302－0117 守谷市野木崎1354－1 TEL 0297－48－4955	㈱北総園 代表取締役 飯島 祐一 〒302－0112 守谷市同地206 TEL 0297－48－0681
㈲松丸造園工事 代表取締役 松丸 久輝 〒302－0117 守谷市野木崎1585 TEL 0297－48－2407	㈲三美園小林 代表取締役 岸波 誠 〒302－0123 守谷市乙子448 TEL 0297－45－1140	㈲中村建設 代表取締役 中村 和正 〒302－0109 守谷市本町7269 TEL 0297－48－0620	オオシン㈱ 代表取締役 加藤 充美 〒302－0119 守谷市御所ケ丘2－13－4 TEL 0297－45－7900	㈲オオヤマ建設工業 代表取締役 大山 力 〒302－0110 守谷市百合ケ丘1－2354－172 TEL 0297－48－5458